

# ゴルバチョフメモリアル 人間の安全保障フォーラム

第2回



核戦争に勝者などいるはずはなく、  
人間の生命にまさるものなどこの世にはない

2024年10月5日(土) 13:20~16:00 (開場12:00)

広島平和記念資料館 地下1階 メモリアルホール

■資料代 一般:2,000円 学生・障がい者:1,000円 (介助者は無料)

■定員 300名 (先着順) ※お申し込み方法は裏面をご覧ください



## ■プログラム

●オープニング

●記念講演 作家 佐藤優さん「米大統領選と世界の動向」

●対談 「いま、ヒロシマが世界に発信すべきことは」

佐藤優さん 元広島市長・平岡敬さん モデレーター・渡部朋子さん



■お問い合わせ 特定非営利活動法人ANT-Hiroshima 〒730-0012 広島市中区上八丁堀8-14 安芸リーガルビル5階  
tel 082-502-6304 fax 082-502-6305 mail ant@ant-hiroshima.org

主催:ゴルバチョフメモリアル第2回人間の安全保障フォーラム広島実行委員会

(実行委員会参加団体:特定非営利活動法人ANT-Hiroshima、ゴルバチョフ財団日本事務所、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター)

共催:公益財団法人広島平和文化センター 後援:琉球新報社

協力:ノーベル平和賞受賞者世界サミット事務局 日本ゴルバチョフ友好平和財団 UPI (ユニナイティド・ピース・インターナショナル)  
金大中平和アカデミー



## 核戦争に勝者などいるはずはなく、 人間の生命にまさるものなどこの世にはない

今年8月6日の広島平和宣言は、米ソ冷戦時代を振り返り、こう述べました。

《かつてゴルバチョフ元大統領は、「われわれには平和が必要であり、軍備競争を停止し、核の恐怖を止め、核兵器を根絶し、地域紛争の政治的解決を執拗に追求する」という決意を表明し、レーガン元大統領との対話を行うことで共に冷戦を終結に導き、米ソ間の戦略兵器削減条約の締結を実現しました。このことは、為政者が断固とした決意で対話をするならば、危機的な状況を打破できることを示しています》

ゴルバチョフ氏は「核戦争に勝者はない」との合意をレーガン氏と交わし、核兵器の大幅削減と冷戦終結につなげました。彼の遺志を継ぐ「ゴルバチョフメモリアル 人間の安全保障フォーラム」は、第1回目が今年1月に沖縄で開かれ、第2回目が広島で開催されます。底流を貫くテーマは「命こそ宝」です。ウクライナ戦争が勃発した2日後のゴルバチョフ財団の早期停戦を求める声明にも、「人の生命にまさるものはない」と記されています。

冷戦終結宣言から今年で35年。欧州と中東で核戦争の芽をはらむ戦争が起きる中、被爆地・広島からどんなメッセージを発信すべきなのか。作家の佐藤優さんが世界の動向を踏まえて基調講演し、元広島市長の平岡敬さんと対談します。みなさんとともに考える機会にできればと思います。

### ■略歴

#### 佐藤 優(さとう まさる)

1960年生まれ。作家、元外務省主任分析官。同志社大学客員教授。1985年に外務省に入省。ソ連・ロシアとの外交の最前線で活躍した。2002年に東京地検特捜部に逮捕・起訴され、その経験をつづった「国家の罫 外務省のラスプーチンと呼ばれて」で作家デビュー。2020年に菊池寛賞を受賞。2024年1月にはNHKクローズアップ現代のロングインタビューに出演。「自壊する帝国」「池田大作研究」「プーチンの野望」「十五の夏」「米ロ対立100年史」など著書多数。1991年にモスクワで起きた保守派クーデター事件では、行方不明となったゴルバチョフ大統領の生存情報を独自に入手、世界に伝わった。



#### 平岡 敬(ひらおか たかし)

1927年生まれ。中国新聞の記者として在韓被爆者問題を掘り起こし、同紙編集局長、中国放送(RCC)社長を経て、91~99年に広島市長。95年にオランダ・ハーグの国際司法裁判所(ICJ)で核兵器の違法性を証言した。著書に「無援の海峡 ヒロシマの声 被爆朝鮮人の声」「希望のヒロシマ」「君たちは平和をどう守るのか」など。市長在任中の92年4月、広島を訪問したゴルバチョフ夫妻を平和記念公園で案内した。



#### ミハイル・ゴルバチョフ(1931~2022)

東西冷戦末期の1985年3月、54歳でソ連の最高指導者である共産党中央委員会書記長に就任。ペレストロイカに着手して国内の民主化を進め、新思考外交を展開した。85年11月にはレーガン米大統領とのジュネーブ首脳会談で「核戦争に勝者はなく、その戦いは決してしてはならない」と合意したのをきっかけに、初の核兵器削減や89年の冷戦終結へと導いた。90年3月、ソ連の初代大統領に就任。90年のノーベル平和賞を受賞した。91年4月には初の日本公式訪問で被爆地・長崎も訪れた。しかし、91年8月に起きた保守派によるクーデター未遂事件を機に国内での政治的権威を失い、91年12月25日、ソ連崩壊とともに大統領を辞任した。大統領退任後

はゴルバチョフ財団の総裁を務め、92年4月には被爆地・広島を訪問。講演活動や執筆、環境運動などに携わり、人類共通の利益、政治思考の非軍事化、人間の安全保障の観点から世界に発信を続けた。

### お申し込み方法

- お申込み先 特定非営利活動法人ANT-Hiroshima 〒730-0012 広島市中区上八丁堀8-14安芸リーガルビル5階
- お申込み方法
  - ①Google フォームからのお申し込み
  - ②メールからのお申し込み [mail ant@ant-hiroshima.org](mailto:ant@ant-hiroshima.org)
  - ③電話番号からのお申し込み [tel 082-502-6304](tel:082-502-6304)
  - ④FAXからのお申し込み [fax 082-502-6305](tel:082-502-6305)

google form



#### ■申込み締切日 9月30日(月)

- \*メール、電話、FAXでお申込みの場合は、お名前・参加人数(参加者名)・お電話番号をおしらせください。
- \*申し込み締め切り日までに定員に達した場合は、締め切らせていただきます。